

令和元年度事業報告書

一般財団法人 いも類振興会

1. 事業の概要

わが国の重要畑作物であるサツマイモ、ジャガイモの生産振興と消費拡大等により、国民食料の安定供給に寄与するため、次の事業を行った。

情報活動事業では、従来より当振興会事業の基幹となっている「いも類振興情報」を前年度に引き続き発行した。

調査研究事業では、刊行されている「ジャガイモ事典」、「サツマイモの近代現代史」、「焼きいも事典」、「干しいも事典」、「清薯源流の砦 平成の歩み」を頒布した。

更に、前年度に引き続き「かんしょ品質評価研究会」を開催し、「品質評価試験報告書」を取りまとめた。

知識啓発・普及事業では、前年度に引き続き、農林水産省消費者の部屋における「さつまいも、じゃがいもの週」の展示に協力したほか、いも類の啓発活動を行った。

ただし、「いも類講演会」は新型コロナウイルスの感染拡大により開催を中止した。

日本いも類研究会事務事業については、引き続き研究会の事務局業務を行った。

2. 会議等の開催

令和元年度では、次の会議等を開催した。

(1) 評議員会

令和元年度定時評議員会

期 日： 令和元年5月31日

場 所： 三会堂ビル 2階B会議室

議 案： 第1号議案 平成30年度事業報告書および平成31年度事業計画書
ならびに平成31年度収支予算書の報告について

第2号議案 平成30年度財務諸表の承認について

第3号議案 理事、監事の選任について

第4号議案 その他

(2) 理事会

令和元年度第1回通常理事会

期 日： 令和元年5月15日

場 所： 三会堂ビル 9階第2会議室

議 案： 第1号議案 平成30年度事業報告書および平成30年度財務諸表の承認について

第2号議案 令和元年度定時評議員会の招集について

第3号議案 その他

令和元年度臨時理事会

期 日： 令和元年5月31日

場 所： 三会堂ビル 2階B会議室

議 案： 第1号議案 理事長及び副理事長の選任について

第2号議案 その他

令和元年度第2回通常理事会

期 日： 令和2年3月19日

場 所： 三会堂ビル 9階第2会議室

議 案： 第1号議案 令和2年度事業計画書および令和2年度収支予算書の承認について

第2号議案 その他

(3) 事業監査

令和元年5月10日に当振興会の事務室において、平成30年度の事業報告書および財務諸表等について、監事による事業監査が実施され、適正であると認められた。

(4) いも類振興情報編集委員会

期 日： 平成31年2月7日

場 所： 一般財団法人いも類振興会 事務室

議 題： 1. 「いも類振興情報」の企画編集について

2. その他

3. 評議員、理事、監事および職員の異動

(1) 評議員、理事、監事

異動なし。(令和元年5月31日に選任の通り)

(2) 職員

異動なし。

4. 事業実施の概要

(1) 情報活動事業

「いも類振興情報」の発行

「いも類振興情報」は、国内外のいも類に関わる生産、流通、加工および消費について収集した情報を編集し、いも類の生産振興、消費の拡大に資することを目的に発行しているわが国唯一のいも類専門情報誌である。

令和元年度も年4回（第139号～142号）発行し、農林水産省、都道府県、試験研究機関、種苗管理センター、農業改良普及センター、植物防疫所、農業協同組合、大学等教育機関、関係団体・企業等へ配布した。

特集記事として、第139号では「ばれいしょ加工品中のアクリルアミドの低減」、第140号では「平成30年度いも類講演会の概要」、第141号では「いも焼酎の現状と展望」、第142号では「いも類の新品種紹介」をそれぞれとりあげた。

また、一般記事として、調査・研究、産地情報、海外情報、いもと文化、ジャガイモの料理、おいも探訪、トピックスなどを掲載した。

(2) 調査研究事業

各種事典等の頒布および発行

平成21年度の「サツマイモ事典」、平成23年度の「ジャガイモ事典」、平成24年度の「サツマイモの近代現代史」、平成26年度の「焼きいも事典」および平成28年度に刊行された「干しいも事典」の頒布に努めた。ただし、「サツマイモ事典」は在庫切れの状態にある。

また、「いも類振興情報」での連載が終了した「ばれいしょ原原種の生産農場」について、農研機構種苗管理センターの協力を得て編集を行い「清薯源流の砦 平成の歩み」として刊行し関係者に頒布した。

かんしょ品質評価研究会の開催

かんしょ品質評価研究会は、サツマイモの食品加工メーカー等の実需者、農研機構等の育種研究者および関係機関が参画し、加工用途毎の特性に着目した適性品種の育種開発の加速化を目的として平成16年度から実施している研究会である。当研究会の事務局は、いも類振興会に置かれている。

令和元年度は、19のサツマイモ供試系統について、用途別（焼きいも、干しいも、ペースト、カット、いもようかん、大学いも、チップ、焼酎）に各担当社が品質評価試験を実施した。その試験結果を、令和2年1月23日に、東京都内の三会堂ビル会議室において開催した令和元年度かんしょ品質評価研究会で分析・評価のうえ、「令和元年度かんしょ品質評価研究会品質評価試験報告書」（令和2年3月）として取りまとめ、関係機関・団体等に配布した。

(3) 知識啓発・普及事業

サツマイモ、ジャガイモに関する知識啓発・普及事業として、次の活動を行った。

令和元年月10月28日～11月1日に、農林水産省 消費者の部屋で「さつまいも・じゃがいもの週」が開催され、800名を超える来場者があった。

いも類振興会はこの催しに協力して、ばれいしょ21品種、かんしょ25品種を入手して展示したほか、さつまいも在来品種の「紅赤」、「太白」を展示し興味をひいた。

また、試食用として「ノーザンルビー」、「ハロームーン」などから作ったポテトチップス6種、「コガネセンガン」から作ったケンピを提供した。

加えて、関係機関・企業の協力を得て、「紅赤」の加工品、ポテトサラダ、干しいも、焼酎、色素サンプルなどのいも類関係の製品・資料を展示した。

令和元年12月5日に、札幌市のANAクラウンプラザホテル札幌で開催された「2019年度ポテトフォーラム」(主催：北海道農業研究センター、北海道馬鈴しょ協議会、日本スナック・シリアルフーズ協会)に対して後援を行った。

また、令和元年12月5～6日に宮崎市で開催された「令和元年度いも類研究会」(主催：九州沖縄農業研究センター)に参加した。

関係機関・団体、マスコミ等からのいも類の知識啓発・普及に関する協力要請に対し、前向きに対応した。特に、元年度はマスコミ各社からの「焼きいも」に関する協力・取材要請が多く、いも類への関心を高めるため積極的に対応した。

令和2年3月10日に東京都内三会堂ビル石垣記念ホールにおいて、日本いも類研究会との共催で「いも類講演会」を開催する予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う大規模イベントの自粛要請があり中止とした。

(4) 日本いも類研究会事務事業

前年度に引き続き、日本いも類研究会の事務局として、その事務局業務を円滑に実施した。なお、日本いも類研究会の会員には「いも類振興情報」の各号を1部ずつ配布している。

(5) いも類に関する情報の収集および提供

官公庁、試験研究機関、関係団体・企業、生産現場等から、国内外のいも類等に関する情報を収集・整理するとともに、照会・相談に対し説明を行った。

いも類振興会の組織、事業活動、財務内容等に関する一般法人としての情報公開を、インターネットの共同サイト((公財)公益法人協会)を通じて行った。